

定例記者会見（令和7年3月31日（月）12：00）会見場所：市政記者クラブ

1. 下関市防犯カメラ設置事業費補助金について

（市民部生活安全課）

本日の定例記者会見は、市民部、総務部から2件となります。

1件目は、下関市防犯カメラ設置事業費補助金についてです。

市内の団体を対象に、防犯カメラの設置費用の一部を助成します。申請受付開始は5月1日からで、詳細につきましては、4月以降に市ホームページで公開いたします。

補助率をこれまでの2分の1から3分の2に引き上げ、補助額は1団体30万を上限にすることで、これまで以上に防犯カメラ設置を推進していきたいと考えております。

本市の犯罪認知件数は、近年減少傾向にあります。

これは、警察はもちろん、地域住民の皆様が行う様々な防犯活動の結果であると思います。

一方で、皆様ご存じのとおり、最近では痛ましい事件も起きています。そのような事件において、防犯カメラが犯人の検挙に大きく役立つものとして、全国的に防犯カメラへの評価が改めて高まっています。

本市でも、この補助制度を活用いただくことで、防犯カメラの普及が進み、より安全・安心なまちづくりにつながることを願っています。

この件については、以上です。

2. 職員の名札の表記の変更について

(総務部職員課)

2件目は職員の名札の表記の変更についてです。

本市では、職員であることの明示や市民サービスの向上のために、フルネーム・顔写真つきの名札を着用していますが、職員が安心・安全に業務に取り組める環境づくりを目的に、新年度である明日4月1日から、名字のみを記載した名札に変更いたします。

変更の理由につきましては、全国のほかの自治体でもカスタマーハラスメント対策の一環で、名札の表記を名字のみに変更する動きがあることや、昨年10月から11月にかけて職員を対象に行ったアンケートで、回答者の3割に当たる職員からカスタマーハラスメント対策として「職員の名札表記の変更」を求める回答があったことを受けたものです。

新しい名札の表記は、顔写真を廃止して、課名と名字のみに変更するほか、書体には、市民に視認しやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

また、名字は、基本は漢字表記ですが、窓口に出ることが多い課長補佐級以下の職員や会計年度任用職員については、プライバシーにも配慮して、ひらがな表記にすることも可能としています。

今後も職員が安心して働ける環境をつくり、より一層の市民サービスの向上に努めてまいります。

本日の記者会見は以上です。